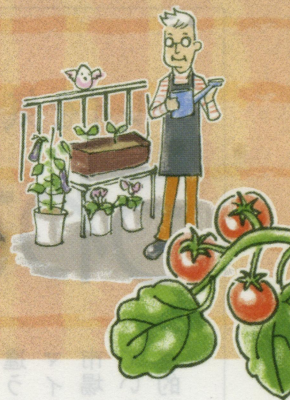
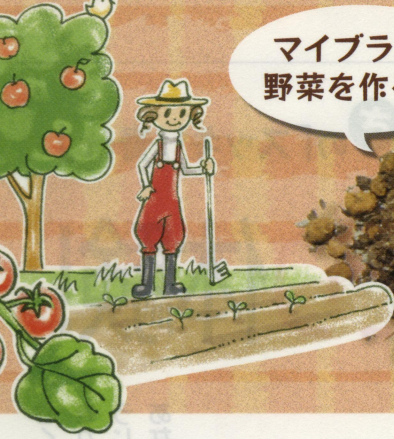


マイブランド
野菜を作ろう!

12月

菜園くらぶ

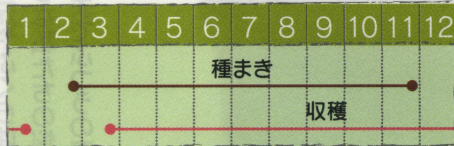
監修/帖地 近行



用意するもの(1㎡当たり)

- 種子 ■ 苦土石灰100g
 - 元肥(完熟堆肥2kg、化成肥料100g)
 - 追肥(化成肥料25g/1回分)
 - 寒冷紗(カnelleいしゃ)や不織布
- ※化成肥料はN(窒素)-P(リン酸)-K(カリ)
=10-10-10タイプのものを使う

栽培カレンダー



【アブラナ科・日本原産】
キョウナやチンゲンサイの仲間、カブがほかのアブラナ科の植物と交雑してきたものといわれています。もともとは東京の江戸川区小松川周辺で栽培されていましたが、その後多数の品種が作られて全国的に栽培されるようになりました。



栽培しやすい葉野菜

コマツナ

栽培手順

1 種まき

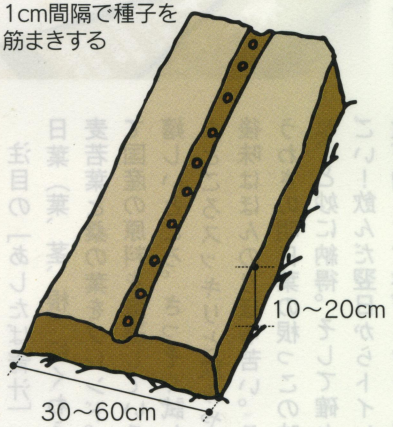
種まきの2週間前までに苦土石灰を全面散布してできるだけ深く耕し、1週間前に堆肥、化成肥料を全面にまき、よく耕す。

幅30〜60cmの畝を立て、深さ1〜2cm程度のまき溝を作る。種子をまく前に、畝に十分かん水しておく。種子が重ならないように1cm間隔で種子をまき、薄く土をかぶせて軽く押さえ、種子が流されないように丁寧にたっぷり水を与える。

※排水の悪いところでは、畝の高さは20cmぐらいにする。

2 間引きと追肥

1cm間隔で種子を筋まきする



本葉1、2枚のときに3、4cm間隔に、本葉が3、4枚のとき5、6cm間隔に間引き。

2回目の間引きのときに追肥し、軽く

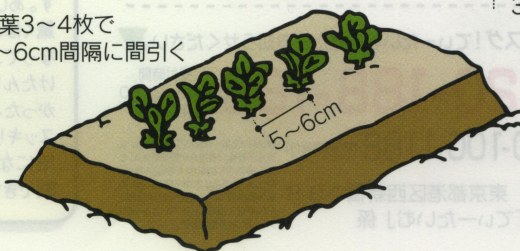
3 収穫

葉の長さが20〜25cmになったら収穫する。春はすぐにトウ立ち(花が咲く)するので注意が必要。

本葉1〜2枚で
3〜4cm間隔に間引く



本葉3〜4枚で
5〜6cm間隔に間引く



ポイント

- ・2、3週間ごとに種をまくと、ほぼ通年収穫できる。
- ・生育が早いので肥料、水分が不足しないように注意する。間引きのタイミングが遅れないように注意。
- ・寒冷紗や不織布(冬は白色、夏は黒色を使う)でトンネル掛けすれば、無農薬で栽培できる。
- ・病害が発生しやすいので、同じ料の連作は避ける。